

第6回 放射性医薬品・画像診断薬研究会

プログラム

開催日 平成18年9月30日(土) 9:10開場
場所 京都テルサ / 京都府民総合交流プラザ
JR京都駅(八条口西口)より南へ徒歩約10分
<http://www.kyoto-terrsa.or.jp/>

<プログラム>

9:25 - 9:30 開会挨拶: 佐治 英郎

セッション1 座長: 菊池 達矢、河嶋 秀和 9:30 - 10:42

(1) 9:30 ~ 9:42

アポトーシスの描出を目的とした放射性ヨウ素標識カスパーゼ-3 イメージング剤の開発に関する基礎的検討

山根みずき¹、木村寛之¹、河嶋秀和²、久下裕司¹、佐治英郎¹

(1 京大院薬、2 京大院医)

(2) 9:42 ~ 9:54

心筋へ取り込まれ 酸化を受けるテクネチウム-99m 標識脂肪酸

上原知也¹、上村友恵¹、平林正次¹、小高謙一²、秋澤宏行¹、間賀田泰寛³、入江俊章²、荒野泰¹

(1 千葉大院薬、2 放医研、3 浜松医大)

(3) 9:54 ~ 10:06

テクネチウム-99m(^{99m}Tc)標識脳内ニコチン性アセチルコリン受容体イメージング剤の開発に関する研究: A-85380 誘導体の合成と評価

木村寛之¹、上田真史²、小川数馬³、河嶋秀和⁴、清野 泰⁵、久下裕司¹、佐治英郎¹

(1 京大院薬、2 京府医大、3 金沢大学際セ、4 京大院医、5 京大病院 RI)

(4) 10:06 ~ 10:18

Poly(ADP-ribose)polymerase イメージング薬剤の開発 - [¹¹C]MDDIの合成 -

大田洋一郎¹、三宅義徳²、石田良雄³、飯田秀博¹

(1 国循セ研先進医工学セ放射線医学部、2 国循セ薬剤部、3 国循セ放射線診療部)

(5) 10:18 ~ 10:30

エステル官能基の特性を利用した F-18 標識脳血流トレーサーの開発

森 哲也、小林正和、清野 泰、岡沢秀彦、藤林靖久

(福井大学高エネルギー医学研究センター)

(6) 10:30 ~ 10:42

^{18}F 標識脳内代謝変換型AChE活性測定プローブの開発研究

菊池達矢、岡村敏充、張 明栄、福士 清、大林 茂、永井裕司、徳永正希、鈴木和年、
須原哲也、入江俊章

(放射線医学総合研究所)

10:42 - 11:00 休憩

セッション2 座長：間賀田 泰寛、籀野 健太郎 11:00 - 12:00

(7) 11:00 ~ 11:30

脳PET診断薬とP糖タンパク質(P-gp)

石渡喜一¹、河村和紀²、谷内一彦³、N. Harry Hendrikse⁴

(1 都老人研、2 新潟大、3 東北大、4 Free University Medical Center)

(8) 11:30 ~ 12:00

核医学的手法による動脈硬化プラークの不安定性評価

向 高弘

(九州大学大学院薬学研究院)

12:00 - 13:30 休憩(昼食)

セッション3 座長：飯田 靖彦、鹿野 直人 13:30 - 14:18

(9) 13:30 ~ 13:42

ラットにおけるプラナーポジトロンイメージング装置による抗てんかん薬 ^{11}C -Phenytoin
の薬物動態評価

長谷川雪憲¹、金井泰和¹、長谷川新治¹、奥 直彦¹、倉智嘉久²、畑澤 順¹

(1 大阪大学大学院医学系研究科核医学講座、2 大阪大学大学院医学系研究科薬理学講座)

(10) 13:42 ~ 13:54

デンドリマーの体内動態制御に関する基礎的検討

石井大輔、高木恭子、上原知也、上村友恵、秋澤宏行、荒野 泰

(千葉大院薬)

(11) 13:54 ~ 14:06

脳内排出トランスポーター機能の非侵襲的定量評価を目的とする新規測定法

岡村敏充、菊池達矢、福土 清、入江俊章

(放医研)

(12) 14:06 ~ 14:18

標識人工アミノ酸の腎への生理的集積低減を目的とした体内動態制御の検討

中島修一^{1,2}、鹿野直人¹、小倉正人¹、小谷高志³、小林正和²、吉本光喜²、石川演美¹、川井恵一²

(1 茨城県立医療大学保健医療学部、2 金沢大学大学院医学系研究科、3 独立行政法人国立病院機構霞ヶ浦医療センター放射線科)

セッション4 座長：矢嶋 一賀、西嶋 剣一 14:18 - 15:06

(13) 14:18 ~ 14:30

in vivo 炎症診断剤の探索研究

松井多美子、前村万里野、川口敬義、関 育也、山道芳弘

(日本メジフィジックス株式会社 創薬研究所)

(14) 14:30 ~ 14:42

[C-11]SA4503 の治療薬開発への応用：シグマ1受容体占拠率と薬理反応の関連

小林直之、三田四郎、高尾和正、吉川寿徳、石渡喜一

(株式会社エムズサイエンス)

(15) 14:42 ~ 14:54

アポトーシスイメージング剤^[18F]アネキシンV自動標識装置の開発

松矢高広¹、矢嶋一賀¹、村上佳裕¹、三好荘介¹、野田昭宏¹、笠谷浩行²、西村伸太郎¹

(1(財)先端医学薬学研究センター、2(株)大日本精機)

(16) 14:54 ~ 15:06

臨床PET試験用無菌注射製剤製造システムの開発

矢嶋一賀¹、松矢高広¹、村上佳裕¹、上田浩司²、笠谷浩行³、西村伸太郎¹

(1 先端医学薬学研究センター、2 澁谷工業(株)、3(株)大日本精機)

15:06 - 15:30 休憩

セッション5 座長：平田 雅彦、細井 理恵 15:30 - 16:30

(17) 15:30 ~ 15:42

脊髄小脳変性症の遺伝子治療における発現イメージングに関する基礎的研究

柴 和弘、Nasima Akhter、小川数馬、寅嶋 崇、平井宏和、森 厚文

(1 金沢大学学際科学実験センター、2 群馬大学大学院医学系研究科)

(18) 15:42 ~ 15:54

ラット脳の発達過程における糖および酢酸の取り込みの比較検討

細井理恵、北野大介、久世健司、井上 修

(大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻医用物理工学講座)

(19) 15:54 ~ 16:06

EGF レセプターチロシンキナーゼ活性診断薬剤の様々な癌に対する適応性に関する検討

平田雅彦、大桃善朗

(大阪薬科大学)

(20) 16:06 ~ 16:18

マトリックスメタロプロテアーゼ - 2 を標的とする新規腫瘍診断用ペプチド放射性薬剤の開発

花岡宏史¹、向 高弘²、浅野大悟³、飯田靖彦¹、遠藤啓吾¹、佐治英郎³

(1 群大院医、2 九大院薬、3 京大院薬)

(21) 16:18 ~ 16:30

タンパク質放射性薬剤の細胞内移行性向上を目指した膜透過ペプチドの利用：新規代謝捕捉型低酸素イメージング剤の開発

榎谷真貴¹、上田真史²、工藤 喬¹、山下朋子¹、近藤科江³、久下裕司¹、佐治英郎¹

(1 京都大学薬学研究科、2 京大病院 RI、3 京都大学医学研究科)